Vol.008

梅島ふるうつ屋

月の養蜂だより 8月号

今月のひとこと

毎日、本当に暑いですね。人間にとって厳しい暑さですが、ミツバチたちも同じです。巣箱の前では、羽を一生懸命動かして風を送り、巣の中の温度を調整している姿を見ることができます。今年は春に一度すべてのミツバチを失いましたが、現在は新しい群とともに、もう一度養蜂場を立て直しています。

蜂蜜のプチ知識

蜂蜜の減る時期

実は、はちみつはとても腐りにくい食品です。
その理由のひとつが、はちみつに含まれる水分の少なさ。花から集めてきた蜜には、最初は水分が含まれています。
ミツバチたちは羽で風を送るなどして水分を飛ばし、濃いはちみつへと仕上げていきます。

ちょっとだけ環境の話

「ミツバチ＝春」というイメージがありますよね。でも、ミツバチは夏も毎日食べ物を探しています。身近な花を見つけたら、「ミツバチも来るかな？」そんな目線で見てみると、少し違って見えるかもしれません。

養蜂家のひとりごと

養蜂場では今はミツバチが飛び交っています。しかし、まだまだ復活しました。という段階ではありません。
でも、ミツバチが全滅した時は、本当にここから一から始められるのか、と思いました。全てに感謝しています。

今月のミツバチ：養蜂の話

8月後半になるとスズメバチ対策が始まります。秋にかけて活動が活発になり、ミツバチを狙って巣箱にやってくることが増えてきます。
そのままにしておくと弱い群は全滅させられてしまいます。この対策が冬を越すこと、そして来年の春のスタートを支えてくれます。

季節ごとの管理

僕が秋に向けて目指しているのが、額面蜂児(がくめんほうじ)と呼ばれる状態です。額面蜂児とは、巣枠いっぱいにきれいに蜂児が並んでいるような状態のことです。

今月の一枚

夏の暑い時期は、空調服にサングラス。
暑さ対策や日焼けの対策もしなければです。



ここまで読んでくださり、ありがとうございます。
ミツバチや蜂蜜、環境などについて、少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです。
InstagramやTikTokにて365日で復活する養蜂家として発信もしています。